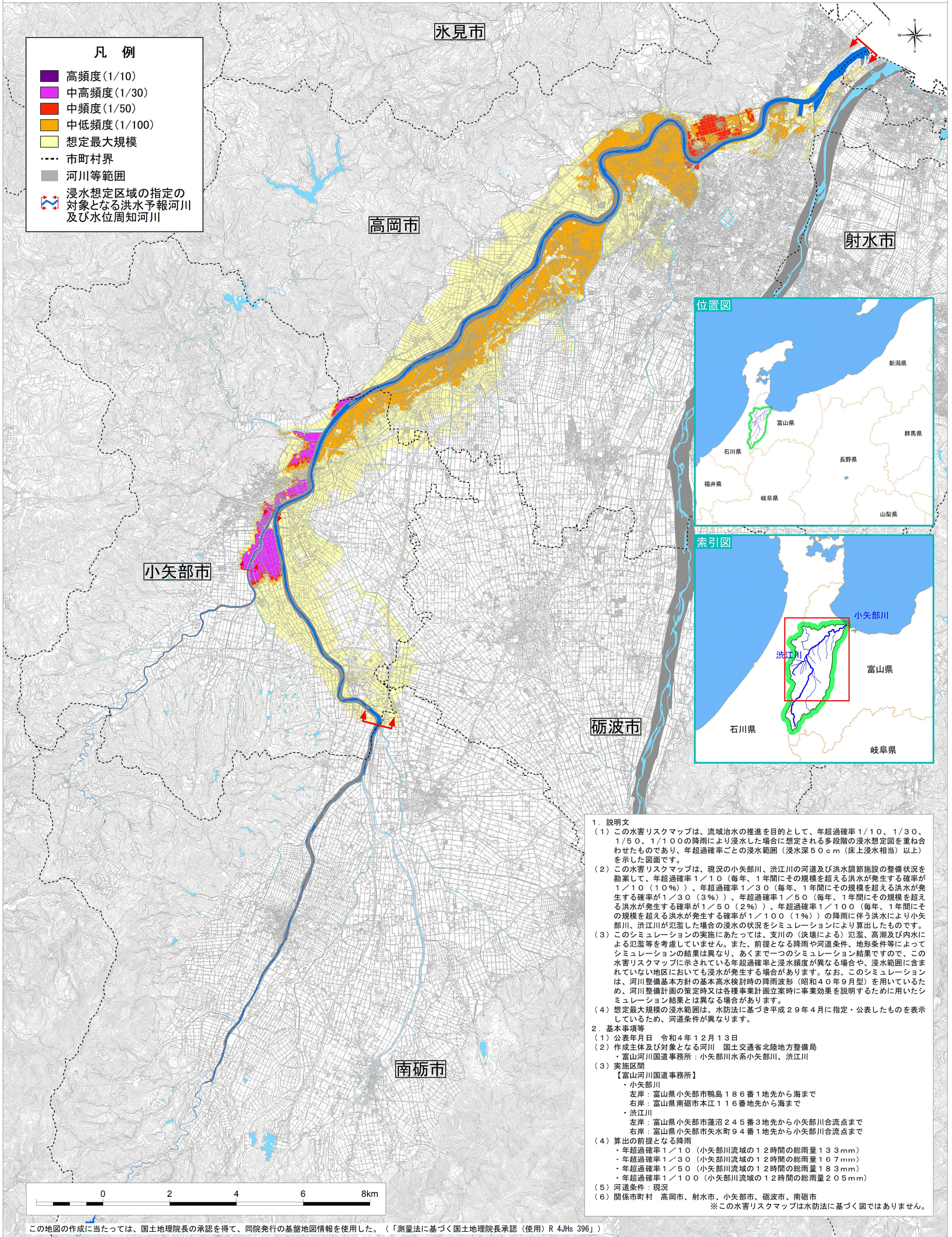


# 小矢部川水系 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ【現況河道】

暫定版

浸水深50cm(床上浸水相当)以上の  
浸水が想定される範囲を表示



- 凡例
- 高頻度(1/10)
  - 中高頻度(1/30)
  - 中頻度(1/50)
  - 中低頻度(1/100)
  - 想定最大規模
  - 市町村界
  - 河川等範囲
  - 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川及び水位周知河川



1. 説明文
- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水深50cm(床上浸水相当)以上)を示した図面です。
  - (2) この水害リスクマップは、現況の小矢部川、洪江川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%))の降雨に伴う洪水により小矢部川、洪江川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
  - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和40年9月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
  - (4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成29年4月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
2. 基本事項等
- (1) 公表年月日 令和4年12月13日
  - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省北陸地方整備局  
・富山河川国道事務所：小矢部川水系小矢部川、洪江川
  - (3) 実施区間  
【富山河川国道事務所】  
・小矢部川  
左岸：富山県小矢部市鴨島186番1地先から海まで  
右岸：富山県南砺市本江116番地先から海まで  
・洪江川  
左岸：富山県小矢部市蓮沼245番3地先から小矢部川合流点まで  
右岸：富山県小矢部市矢水町94番1地先から小矢部川合流点まで
  - (4) 算出の前提となる降雨  
・年超過確率1/10(小矢部川流域の12時間の総雨量133mm)  
・年超過確率1/30(小矢部川流域の12時間の総雨量167mm)  
・年超過確率1/50(小矢部川流域の12時間の総雨量183mm)  
・年超過確率1/100(小矢部川流域の12時間の総雨量205mm)
  - (5) 河道条件：現況
  - (6) 関係市町村 高岡市、射水市、小矢部市、砺波市、南砺市  
※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 4JHs 396」)